

コミセンレポ

月に1度の出張イベント 「出前じどうかん」登場！

コミセンわじろのチャイルドルームでは、福岡市立中央児童会館が、積み木や人形劇などいろいろなあそびを教えてくれる「出前じどうかん!!」を開催しています。この日は、お兄さん「とんがりくん」とその仲間たちがやってきます。大きなパネルシアターや絵本の読み聞かせ、親子でお手玉遊びなど、親子参加の笑顔のたえないプログラムが行われます。(10:00～、10:50～の2部に分けての開催)

子どもたちにとっても、親御さんにとっても、普段はなかなか遊ぶことのできないおもちゃや、知らなかった遊びに出会うチャンスです。参加の際には事前のご予約などは必要ありませんので、気軽にお越しください。新しいお友達もできるかも。また、2F受付では、今後のスケジュールがわかるチラシを配布しています。毎月第1木曜日は「出前じどうかん!!」の日。忘れず遊びにきてくださいね。

「出前じどうかん」の詳細情報はコチラ

【日程】 毎月第1木曜日 10:00～11:30

【会場】 チャイルドルームと和室

【対象】 乳幼児(未就学児)とその保護者



コミセン活用術

公式試合や発表会などに！ しっかり使える「体育館」編

コミセンわじろの3階には、体育館があるのをご存知ですか？広さはバレーコート2つつ、天井までの高さは3フロア分(約10m)と高く、いつもは卓球やバスケット、ソフトバレーなどのサークル・団体にご利用いただいています。水・土・日曜日は個人での利用ができて、元気な声が毎日響いています。

このような団体・個人のほか、大人数でのスポーツ大会やサークル交流会・発表

会などを開催することもできます。これまでも地域団体が主催するドッジボール大会や複数のサークルが集まったフォークダンス交流会などが行われてきました(実施の条件などもありますので、ご希望の方はスタッフへお声掛けください)。

大会時は、上階のランニングコースを観覧席としてもご利用いただけますので、練習の成果を発揮する場や交流の場として、体育館をご活用ください！

今回の活用ポイント

- ◎ 全面利用で大人数にも対応できる
- ◎ コートを2つに分けて使ってみる
- ◎ 4Fランニングコースから観覧できる



コミセンわじろ

WAJIRO Regional Community Center

〒811-0213 福岡県福岡市東区和白丘1丁目22-27

☎092-608-8480 FAX: 092-608-8485

【開館時間】午前9時から午後9時まで(多目的ホールは午後10時まで)

【休館日】毎月最終月曜(祝日のときは翌日)、及び年末年始(12/28～1/3)

より詳しい情報は、コミセンわじろ公式ホームページをご覧ください。

公式HP <http://wajiro.info>

facebookでも、コミセンわじろの日常を発信中！

facebook www.facebook.com/komisenwajiro



福岡市和白地域の魅力、活動サークルの紹介など
みなさんの活動に役立つ情報を発信します

地域とあなたが、もっとつながる

wajico [ワジコ] vol. 06 2014 Autumn

pick
up

わじろじまん 夏のはじまりの風物詩「奈多祇園祭り」

わじろ元気印 ハワイアン・フラで明るく楽しく健康に





わじろじまん

和白5校区の伝えたい「誇り」をご紹介します

夏のはじまりの風物詩

「奈多祇園祭り」

奈多校区では、地元の守り神的な存在として崇められている志式(ししき)神社。以前にwajico4号で紹介した「早魚神事」のルーツでもある同神社の境内には、「志式座」と呼ばれる野外の舞台があります。この舞台は明治28年(1895)に久山にある猪野神社の境内から移築されたもので、ここで4月の初老賀祭、7月には奈多祇園が行なわれています。今回はその奈多祇園に注目します。

そもそも舞台ができる遙か前、天明4年(1784)から奈多では疫病と飢餓退散の祈願成就の御礼として、志式神社に踊りや芝居を奉納する習わしがあり、それが「萬年願の奉納芝居」と呼ばれ、1年も欠かさず続けられているそうです。現在もその奉納を継続する祭りとして「奈多祇園祭り」が開催されています。

多世代にわたる演舞の奉納

お祭りは7月19日と20日の2日間(夕方)に及び、現在でものべ2千人の地元客が訪れ、賑わっています。最初を飾るのは、地元の女子小学生を中心とした子どもたちで組まれた志式神社舞姫たちによる『浦安(うらやす)の舞』。扇の舞と鈴による舞が披露され、練習を重ねたであろう美しい舞は、地域の方々の声援を受けていました。

また役者さんたちによる『三番叟(さんばそう)』という見事な舞や芝居、地域のサークルの出し物や演舞、最後は音頭など、祭りの中でさまざまな演目が奉納されていきます。地域の中で大切にされている祭り、これからも末永く続くことを地元の方々は願っています。



この人に聞きました！

今林 晋吉 さん
奈多自治会長

守り神を、地域全体で守る

奈多祇園祭りは、現在では奈多自治会が中心で保存され、毎年7月に開催されています。当日も忙しく現場を駆け回っていた同自治会の今林晋吉会長に、このお祭りについて話を伺いました。

「奈多の氏子は、志式神社を頼りにしています。地元の人間にとってこの神社は心の拠り所であり、私たちの守り神なんです。ここで230年に及んで祭りが保存し継続されていることは、地域にとって大変な誇りです。」

それだけのしっかりとした歴史を持つ祭りらしく、当日の会場には、80歳を越えるシニアの方々から、地元の小・中学生の子どもたちまで、幅広い世代が集まり

ます。祭りの2日間で、その数なんと約2,500人の方々が来られ、賑わいました。これだけ多くの人がこのお祭りは、地元の夏の風物詩として心に残る存在と言えます。



△エリアマップ(JR奈多駅から徒歩15分程度)



①地元の女子小学生による「浦安の舞」。扇の舞と、鈴の舞、2つの班に分かれて舞を披露する／②役者さんが「三番叟(さんばそう)」を舞い、志式神社に奉納する／③当日は多くの観客でにぎわう



地域 〰 団体

わじろ元気印

この地域で「力いっぱい」活動する団体の情報

ハワイアン・フラで

明るく楽しく健康に

今回紹介する団体は、「ハワイアン・ヘルシー・フラダンス・ママ」です。団体のモットーは「美容と健康、ボケ防止」。青い空と海、ヤシの木を連想しながら華やかな衣装を着て、ハワイアンソングに合わせてフラダンスを楽しんでいます。有酸素運動でストレス解消、気分も若返ります。年金受給者協会でその成果を披露したり、公民館の文化祭やお祭りなどに出演しています。今回は同団体の代表、篠原マリ子さんにお話を聞きました。

活動をはじめたきっかけは？

今のメンバーは60歳を過ぎて始めた方ばかりです。子どもが手から離れて、仕事も辞めて時間ができた方がフラダンスを見て「私でもできるかも」と思って参加されます。私も58歳のときに始めました。3つの教室に通い、インストラクター資格を取得したんです。それから今度は私が教える立場となりました。

特徴はどんなところでしょう？

みんな仲が良くって明るいです。練習の時も冗談を言ったりしながら笑顔で踊る。それが長続きの秘訣です。練習後のお昼ごはんや、お喋りも楽しみ。87歳になる方もいますが、準備運動を一緒にした



ら後は見学、顔を出すだけでも十分なんです。健康のための活動ですので、無理なく続けられることが大切ですね。ヘルシーフラダンス自体の特徴は、手をよく使うこと。指先まで集中して動かすことは、頭の体操にも健康にもピッタリです。

今後の活動を教えてください

今年、小学校でフラダンスを教えるという機会がありました。初めてのことでしたが、普段は子どもたちと一緒に踊るチャンスはほとんどありませんから、とても楽しかったです。小学生の子どもたちはムーニーを着ているだけで可愛いで

すよね。これからはもっとそういう機会を増やしていきたいですし、メンバーみんなの健康の続く限り、このヘルシーフラダンスを続けていきたいですね。



この人に聞きました！

篠原 マリ子 さん
ハワイアン・ヘルシー・フラダンス・ママ 代表

毎週金曜日午前中、コミセンわじろの会議室か和室で練習をしています。見学ご希望の方は、コミセンわじろまでおたずねください。



応援課だより

人と人とのつながりをサポートしています

地域活動応援課は、地域で活躍している人と人、サークルと企業、団体と地域の行事など、さまざまな人々同士を結びつ

けるためのサポートをしています。

例えば、「夏まつりにフラダンスサークルに出演して欲しい」ときは、コミセンわじろを練習でご利用いただいているフラダンスサークルさんに相談し、了解を得られればご紹介するといった具合です。

このように「こんな人と一緒に企画をやりたいというイメージはあるけど、どうしよう？つながりがない」といった

ニーズにお応えできるかもしれません。地域で新たなつながりを探している方は、コミセンわじろ地域活動応援課へご相談ください。

応援課に聞いてみたい方はコチラまで

☎092-608-8480 (コミセンわじろ)
相談員・スタッフが対応いたします。
まずは日程調整から、お気軽にお電話ください。